

京都と人をつなぐWebメディア
Kyoto Love. Kyoto
伝えたい京都、知りたい京都。

媒体資料

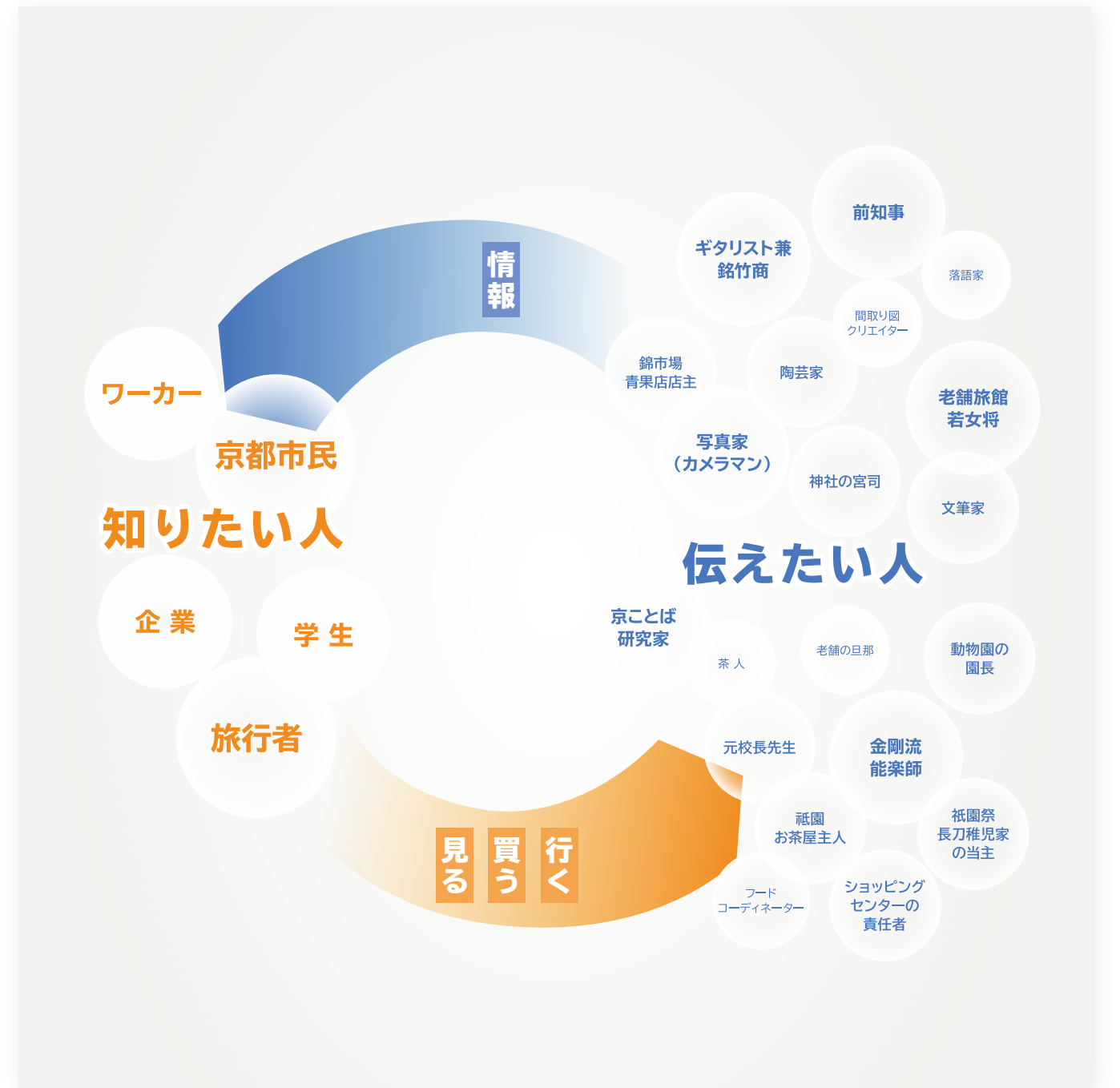
あなたの智慧と想いを明日の京都のためにお貸しく下さい。

京都の街、そして
京都にかかわる人たちの役に立ちたい。
それが私たちが育ててくれた京都への恩返し。

この想いが Kyoto Love.Kyoto の原点です。

京都人でもよく知らない京都がまだまだたくさんあります。
その奥深き京都を、京都に想いを持つものが語る。それはご自身のお知恵や技の発信の場でもあります。その「伝えたい京都と知りたい京都」のマッチングが、知恵・情報の循環を生み、人と人、人と街の交流を紡ぎだす。それがまわり回ってご自身の利となって帰ってくる。私たちはそのように考えています。

Kyoto Love.Kyoto が読者に提供しているのは、消費される情報ではなく、ここ京都で時代を超えて伝えられてきた智恵です。それを後世の京都に、そして全国、できれば海外に伝えていくことが私たちの使命と考えます。あなたの知見や技、そして想いを Kyoto Love.Kyoto でご披露いただくことが明日の京都に、ひいてはあなた自身の明日につながることを信じています。



執筆していただく意義

- 自身の智恵と想いを発信する(伝える)場
- Kyoto Love.Kyoto サイトでの記事掲出
- ツアーやセミナーで講師として、TV取材などのお声がかかることも
- 10話(約2万字)であなただけの本 KLK新書発行(5部までは無料)
- 自分をプロモートする場
※ライター名で検索すると、KLKの記事が上位表示されやすい
- 京都の役に立つという自負心(civic pride)
- 自分の知見や想いが、数千人の目に留まる喜び
- 自分自身の棚卸し(自身のキャリアや想いを見つめ直す)
- 広告調記事(5話ご執筆後)

KLKライターの声

銘竹問屋四代目・ギタリスト

利田淳司 さん

竹屋って仕事って、想像がつかないでしょう、きっと。まずはこの銘竹問屋という存在を幅広い人達に知っていただき、今の時代にも似合った竹の使い方を広く感じていただくことが、商売をしていくうえでまずは必要だとの思いから、ウェブサイトやメディアを通じて、銘竹の種類や用途、実例そして竹のウンチク等々を伝えようとしてきました。

ワクワク感やニコニコ感を感じてもらったコメントを頂いたときには、それが至福の喜び。それが、次の記事に取り掛かるイグニッション・オン！になります。この快感が、実はいちばんの執筆理由。

自称まちの歴史愛好家

橋本楯夫 さん

気が付いたらいつの間にか後期高齢者になっている自分がいた。「人生とっくに下り坂 最高!!」の心境にあったところで、何か形に残る物を置き土産にしたいと思っていた矢先でもあった。人前で話したり、好きな事を書くには少々慣れていたので苦にはならなかった。そこで早速、京都の歴史の好きな断片を綴ってみた。

5月には「KLK新書」として10編をまとめたものを発刊していただけるそうである。「継続は力なり」と言うが、「継続はしんどい也」。しかし「力」がついたような気がする。もう少し自分のために執筆活動を続け、投稿していこうと思っている。

よく読まれているページ

- 1位 トップページ
- 2位 [KLKライター一覧](#)
- 3位 [なんで本願寺は東と西の2つもあるの?](#)

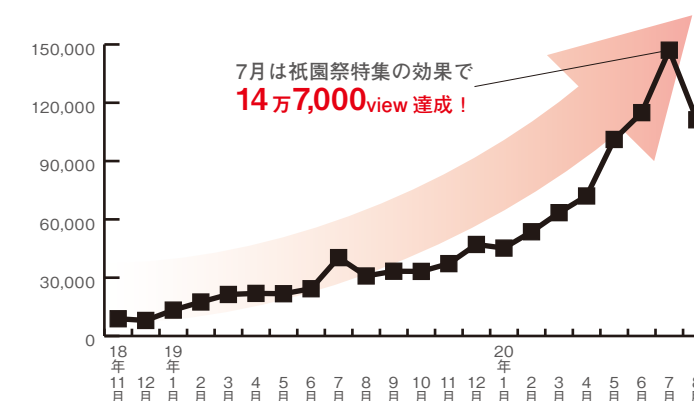
(2020年3月現在)

意外と **KLKライター情報へのアクセスが多い**のが本サイトの特徴。「へえ〜、なるほど」と思った記事を書いたのは、どんな人なのかが気になるようです。

アクセス数の推移

月間のべ
10万人
が訪れるサイト

(2020年9月現在)



個人のブログと同じく、
掲載直後の1週間が最もアクセスが多い。

しかし個人ブログとの最大の違いは、
その後も途絶えることなく
毎月100~500のアクセスをカウントし、
1年後の平均アクセスは3,300を超える。

これこそが消費される情報ではなく、
智恵として残すべき情報の証。

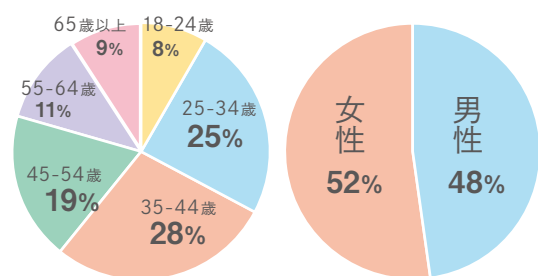
12ヶ月通算最高アクセス
10,431view
[茶の湯とは何モノか3]

1記事あたりの
年間平均アクセス
3,345view

(2020年9月現在)

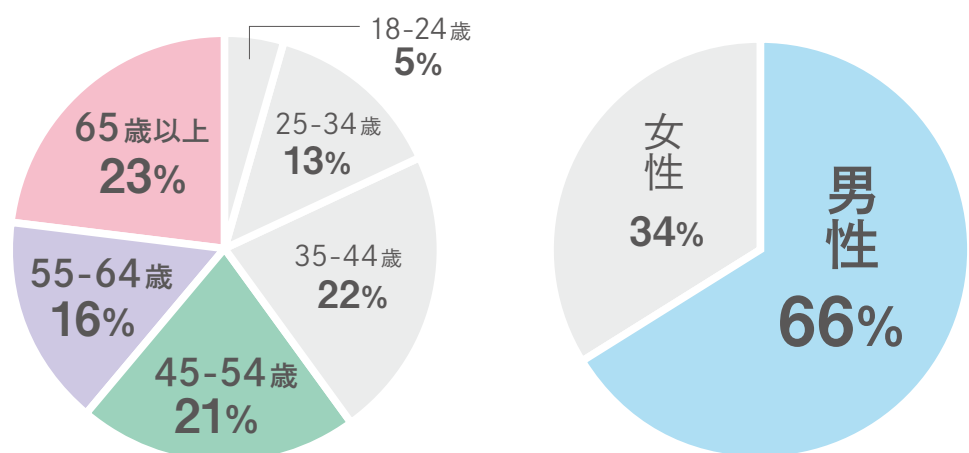
読者の属性

記事の内容によりアクセス者の属性が明確に分かれます。歴史系の記事では中高年の男性、芸術や街の情報は20~30代の女性からのアクセスが得られています。



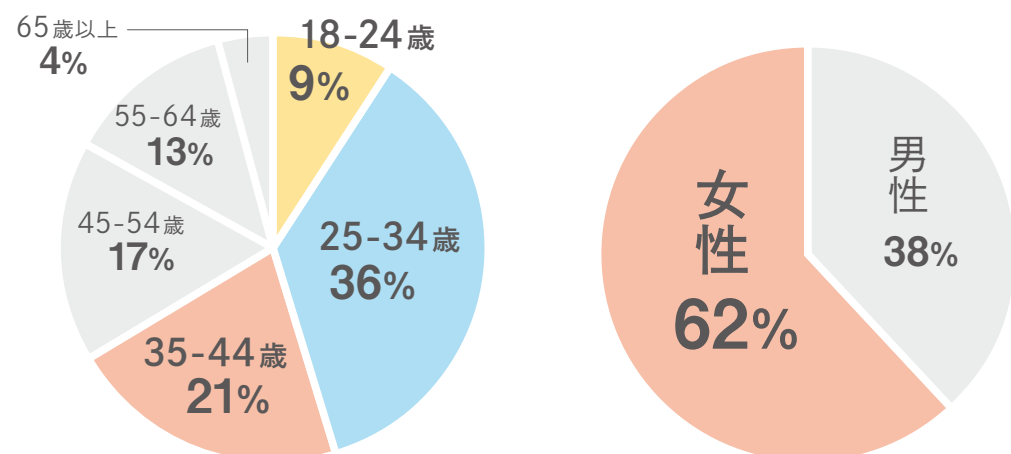
(2020年9月現在)

歴史系記事



(2020年3月現在)

街ネタ系記事

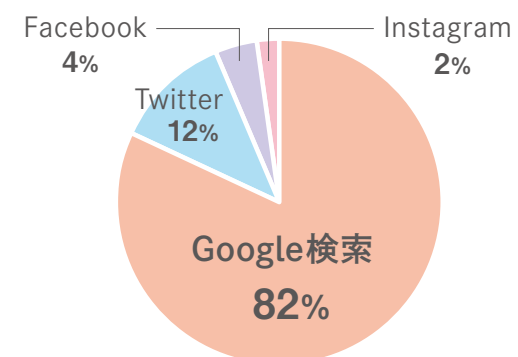


(2020年3月現在)

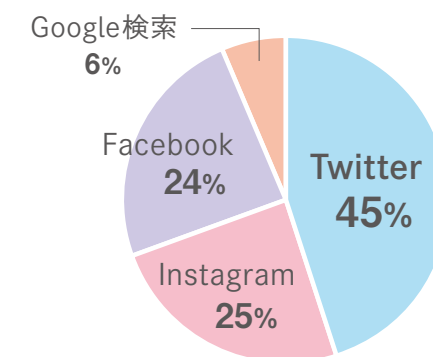
主な流入元

ダミーの文章です。記事の内容によりアクセス者の属性が明確に分かれます。歴史系の記事では中高年の男性、芸術や街の情報は20~30代の女性からのアクセスが得られています。

歴史系記事

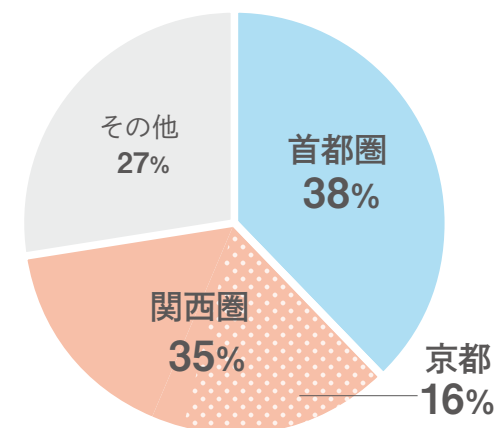


街ネタ系記事



(2020年3月現在)

地域別アクセス



大ざっぱに分けると、関西圏、首都圏、その他エリアの3つに大別される。京都からのアクセスは記事の内容次第で変動幅が大きい。

(2020年3月現在)

平均滞在率

Kyoto Love.Kyoto

1分 50 秒

一般的なサイト

1分 30 秒

(2020年3月現在)

ディープな記事が多いため、はじめの数行ですぐ離脱する方と、しっかり読み込まれる方とに分かれている。というのが編集部解釈です。

KLKライター一覧

- 上林 重明 / 鴨川の長老 コンサルタント
橋本 楯夫 / 自称まちの歴史愛好家
馬淵能理子 / 然林房 若女将
中野 貴広 / 京都ハレトケ学会 主宰
松尾 大地 / 禅者 茶人 建築家
山田 伊純 / 金剛流能楽師
西村 弘滋 / 京ことば研究家
山田正太郎 / 松原通界隈活性化活動プロジェクト委員会 座長
利田 淳司 / 銘竹問屋四代目・ギタリスト
白須 美紀 / いとへん universe 副代表
大武 千明 / 間取り図クリエイター
中島 隆広 / 出雲大社紫野教会 教会長
本郷 貴弘 / 護王神社宮司
蔭山 陽太 / ロームシアター京都 元支配人・THEATRE E9 KYOTO支配人
五十嵐亜紀 / 西陣意匠紋紙工業協同組合青年会 幹事長
大西 里枝 / 株式会社 大西常商店
西村かおり / ハ尋製作所代表
野原 佳代 / 株式会社月虹舎 代表取締役
高向 健次 / 京都教育大学同窓会副会長
田房 夏波 / 株式会社和える 西日本統括本部長
谷口 哲也 / 清水焼窯元 株式会社陶泉窯 四代目
櫻井 功一 / 、や(ちょぼや)店主
島本 由紀 / 鉄道友の会京都支部副支部長・事務局長
野川 邦夫 / 川政兄弟商会 代表取締役・錦神輿会 青年部 会長
梶本 貴子 / 玄武神社 宮司
成岡 秀夫 / 株式会社成岡マネジメントオフィス 代表
奥嶋 昌嗣 / 株式会社観光京都新聞社 代表取締役
片山 博昭 / 京都市動物園 第31代 園長
水田 雅博 / 京都ステーションセンター株式会社 代表取締役専務
小林 哲人 / 大豊神社 権宮司
山本安佳里 / コドモト 代表
- 桂 塩鯛 / 落語家 桂ざこば一門の筆頭弟子
鳴橋 明美 / 京くみひも 鳴橋庵 店主
山田 啓二 / 前京都府知事
吉川 忠男 / 三若神輿会 幹事長
吉井 英雄 / 大船鉾の囃子方 代表
京福電鉄
キリンビール株式会社
山田 純司 / 公益財団法人鷹山保存会 理事長
坂田 憲治 / 祝い提灯講社 副社長
安田 一夫 / 豊園泉正寺禪奉賛会 会長
西村 祐一 / 漆器工芸品 西村吉象堂
原 悟 / 株式会社原了郭 代表取締役・八坂神社氏子 宮本組 組頭
中西 英貴 / 株式会社鼓月 代表取締役
三宅 徹 / 写真家
川添 智未 / たまねぎ工房 ライター・フードコーディネーター
菊池 杏子 / 京の伝統産業わかば会 副会長
藤井 健一 / 元京都市中学校理科の教員
稲野 一美 / 京都出身のフリーアナウンサー
中谷 安志 / 有限会社あんじ 代表取締役
土井 脩史 / 住宅計画研究者
北村 信幸 / 京都市文化芸術政策監・元離宮二条城事務所長
五島 望 / 編集者・ライター
原 亜由美 / 元国語科教員の編集者
今西 知夫 / 株式会社鍵善良房会長・清々講社幹事長
八木 透 / 佛教大学歴史学部教授
松谷 茂 / 京都府立大学客員教授・京都府立植物園名誉園長
木村幾次郎 / 悉皆屋「万足屋きむら」3代目・山鉾連合会 理事長
中川 慶太 / 京都市文化財保護課 課長
木村 宣介 / 四条町大船鉾保存会代表理事
山岡 祐子 / 株式会社白川書院編集顧問・元編集長